

# 「心理臨床アセスメント&支援の基礎固め」トレーニング 2025-2026（第3版）

～系統的に心理査定と支援の基礎を1年で学ぶ（IPSAモデル）～

## [概要]

カウンセリングの学びは、「単発講座」や「SV」「オンライン視聴のみ」等、断片的なものとなりがちです。「折衷的な臨床が多い」ことが確認されていますが、「折衷」自体が難しく、一つの学派のみに依存しない「系統的・実践的な心理査定と支援」の継続学習必要性を感じています。そこで国際心理支援協会では、公認心理師や臨床心理士の初学者を主な対象とし、約1年間の集中的なトレーニングを行います。

## [本トレーニングに含まれる内容]

- ・国際心理支援協会から提供する Biblio（心理支援に関する動画見放題の月額サブスク）にある動画で基礎的な知識を身につけます（毎月、予習・復習に適する動画をお示しします）。
- ・連続する土日で月1回（7時間程度。土曜は16時～19時、日曜15時～19時）で、オンライン開催するライブ講座で学んだ知識を強固なものとし、その時には、不明な点について質問したりすることも可能です。
- ・月2回（平日夜1時間半/1回あたり）のグループスーパービジョン（以下、GSV）や質疑の機会を設け、動画や月1回のライブ講座で学んだ上での実践について、実際のケースを持ち寄り検討することで、生きた知識として実践に活かせるようにします。
- ・参加者同士の横のつながりをつくるため、コミュニティを作り情報交換の場とします。同じような悩みを持つ者同士、学びたいもの同士がつながることができます。

1年間の中で、各種心理療法の学派の知識だけでなく、具体的な折衷的なアセスメントの仕方、支援の仕方について、心理臨床家としての倫理や個室でのセラピーにとどまらない在り方について様々な学び、基礎固めを行います。その後、基礎ばかり学び続けるのではなく、各自興味のある心理療法や各種領域（分野）ごとに必要なことを学び、実践する基盤を固めることが本講座の目的です。本講座を終える頃には、様々な学びを自分なりに統合する基礎を身につけ、適度な自信を持って適切な心理支援が行えるようになるでしょう。

## [お申し込み]

募集開始：2024年10月16日～（定員に達し次第締め切り）

お申し込みは、一般社団法人国際心理支援協会（IPSA）のHP <https://ipsa.or.jp> 内の <https://ipsa.or.jp/news/5474/> 記載のフォームにて行います。

IPSAが提供する Biblio (<https://ipsa-study.net>) での登録が必要ですが、お支払い方法も含めた登録のためのお手続きについては、お申し込みをされた方のうち、お申し込み締切後（先着順）にお知らせいたします。

※お支払いは、銀行振込による一括払い（年払い）を基本としますが、分割払い（月払い）をご希望の場合のご希望者へは、分割払いの方法についてご連絡差し上げます。

※分割払いの場合、万が一の終了時の Biblio 解約忘れがないように、1年の受講終了前にご連絡する予定です。万が一解約忘れ等で課金されてしまった場合には、申告に基づき調査後、返金の手続きを行いますのでご安心ください。

## [本講座の受講によって得られるもの]

- ・臨床家の態度や姿勢、クライアントとの関係づくり、情報収集、多職種への紹介・連携、見立ての立て方
- ・心理検査の基礎、検査等における統計学的な考え方
- ・精神疾患や悩み、(個人的・家庭の・社会における)問題の捉え方、支援への取り組み方を学び、自分の拠って立つ立場(各学派・折衷等)、各検査を行うために必要な考える力・知識を養います。

※本講座は、心理職に必要なすべてを身につけることを保証しません。上記をよくご確認・ご理解いただきお申し込みください。

## [本講座の主な対象]

公認心理師・臨床心理士・医師免許のいずれかをお持ちの方で、(心理支援の)初学者、中堅未満の方がメインの対象。公認心理師養成大学院や臨床心理士指定大学院の学生の方で、受講希望される方は応相談。上記の資格をお持ちでない方は応相談。

## [定員及び最少催行人数]

定員:50人(最少催行人数:20人\*)

\*最少催行人数を下回る場合、本トレーニングは延期となります。その場合、お振込をすでにいただいている方に対して、振込手数料も含め全額返金とさせていただきます。

## 1ヶ月2日間の毎月講義

### 日程

#### 2025年

3月22,23日、4月19,20日、5月31日、6月1,21,22日、7月5,6日、8月2,3日、9月なし、10月4,5日、11月1,2,29,30日、12月20,21日

※9月がお休みになる代わりに、11月の日数を2倍(2ヶ月分)に設定しています。

#### 2026年

1月17,18日、2月14,15日

時間帯：土曜日：16時～19時(適宜休憩) 日曜日：15時～19時(適宜休憩)

場所：Zoom(すべてオンライン実施)

※土日あたりの講義時間：7時間((土曜3時間+日曜4時間)×12回[12ヶ月]=年間計84時間)

講師：浅井伸彦(一般社団法人国際心理支援協会)ほか

※今回(2025年)は、初めての試みでもあるため、講師は基本的に浅井伸彦(国際心理支援協会)としておりますが、必要や希望に応じて他の講師を招くことも柔軟に考えています。

アーカイブの有無：当日ご参加が難しい方の便宜を図り、個人情報などにかかわる部分を削除した上でアーカイブを残す予定です。ただしトレーニングの性質上、できる限りライブでのご参加を推奨します。

## 1ヶ月2回の毎月グループスーパービジョン&質問会

平日の夜(2回/月)にGSV(質疑応答含むZOOMミーティング)を行います。

### 時間帯：

平日夜：19時～20時半、20時～21時半※

場所：Zoom(すべてオンライン実施)

※GSVの一回あたりの講義時間：1時間半([1時間半×2回]×12ヶ月=年間計36時間)

※曜日については、フォームで参加者の希望を伺った上で随時決定していく予定です。

講師：浅井伸彦(一般社団法人国際心理支援協会)ほか

※今回(2025年度)は、初めての試みでもあるため、講師は基本的に浅井伸彦(国際心理支援協会)としておりますが、必要や希望に応じて他の講師を招くことも柔軟に考えています。

**Biblio (予習&復習に用いる動画サブスクサービス <https://ipsa-study.net>)**

Biblio の視聴可能動画 (2024年10月1日時点) : IPSA モデルプラン(スタンダードと同じ)150本以上。

⇒このうち、2025年の1月後半~3月前半頃より、順にご視聴いただく動画を案内しますので、指定された動画(数時間~10時間超程度)をZoomでの毎月講義の日程までにご自身で視聴いただき、その上で毎月講義にご参加いただくことを想定しています。

※隔月で新しい動画がアップされますので、時間数は増えていきます。

**合計時間数(毎月1回のWS/講義+毎月2回のGSV+Biblioの視聴可能動画)=84時間+36時間+150時間以上**

## [料金]

受講料:

**Biblio 利用料(12ヶ月分) : IPSA モデルプラン年間合計 297,600円(税込)**

(分割の場合、月 24,800円(税込)×12ヶ月)

※誤って早く課金されてしまうことを防ぐために、Biblio (<https://ipsa-study.net>) のHP上に当該プランは存在しませんのでご注意ください。ご登録参加者の(先着順で定員内に入った)方々には個別に本登録リンクをお送りします。あらかじめ予習を行いたい方は、スタンダードプランにご加入いただき、2月頃にIPSAモデルプランへの切り替えも可能です。

※受講には必ずBiblioに12ヶ月以上、登録していることが必要です(2025年2月1日~が望ましい。講義の予復習にBiblio上の動画を利用するため)。Biblioについては本トレーニング終了後、スタンダードプランに切り替えることで月額1,980円のスタンダードプランで視聴し続けることも可能です。

## [概要]

2025～ 2026年	テーマ	概要
3月	ガイダンス 心理査定と支援の基礎の土台作り	約1年間のコースの中で行っていく概要についてのガイダンス、学ぶべきポイントや学習方法、心理査定と心理支援の基礎の基礎について学びます。
4月	関与しながらの観察と検査・職責	心理的に支援をするためにクライアント（対象者）に会うとはどういうことか、さまざまな心理検査の種類と使う意義、心理検査を用いないアセスメント、心理職に必要な倫理について学びます。
5月	「傾聴」と共感など中核3条件	本当に自分の思っている「傾聴」は傾聴になっているのか。共感や需要、一致など人間性心理学を中心にセラピストの態度について学びます。
6月	精神力動的な見立てと関わり	精神力動的（あるいは分析的）にアセスメントをしていくことについて、注意事項も含めてアクティブに学びます。
7月	認知行動療法的見立てと関わり	認知行動論的にアセスメントをしていくことについて、注意事項も含めてアクティブに学びます。
8月	システム論・社会構成主義的な見立てと関わり	システム論的、社会構成主義的にアセスメントをしていくことについて、注意事項も含めてアクティブに学びます。
9月	検査を用いたアセスメント	心理検査を有効活用するために何が出来るか。簡易な心理検査から、フィードバック、今後学ぶ複雑な検査の取り扱いについて学びます。
10月	トラウマのレンズを通した見立てとトラウマケア	トラウマとは一体何なのか。トラウマが及ぼす心身への影響や、トラウマを持ったクライアントに対してどう関わるとよいかについて学びます。
11月	カップルや家族など複数人面接での見立てや関わり	カップルや個人、職場関係などの複数人面接において、心理職には何が出来るかについて学びます。
12月	5領域（教育、保健医療、福祉、司法・犯罪、産業・労働）での活かし方①	各領域において、典型的な個室での面接ができない場合に、心理職には何が出来るかについて学びます。
1月	5領域（教育、保健医療、福祉、司法・犯罪、産業・労働）での活かし方②	同上。11月で扱いきれなかった領域について特に学びます。
2月	1年間の振り返り	これまでの1年間で振り返って、どんなことを学んだか。新たな疑問が湧いてきてはいないかなど、1年間の総決算を行います。

## [キャンセルポリシー]

Biblioでのお申し込みとなるため、<https://ipsa-study.net> を参照のこと。毎月支払いの場合は、Biblioの規定によります。IPSA モデルプランやスタンダードプランには、7日間の無料期間がありますが、8日目からは課金となります。課金後の該当する月の利用料にかかる返金はありません。

## [修了要件]

原則 80%以上の出席。やむを得ず出席が出来ない場合には応相談。出席率が80%を下回ると原則的に修了証をお渡しできませんが、受講を最後まで継続いただくこと自体は可能です。

なお、講義形式の部分は極力、アーカイブ動画として残せるようにしますが、本講座はあくまで「トレーニング」です。月1回2日間の「毎月講義」や平日夜開催のGSVにはできる限りライブで出席に努めてください。

## [主催者]

一般社団法人国際心理支援協会

## [お問い合わせ]

TEL:06-6926-4544 (MEDI 心理カウンセリング大阪[国際心理支援協会のカウンセリングオフィス])

E-mail:[info@medi-counseling.com](mailto:info@medi-counseling.com)